



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第16号
令和6年 3月1日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail : itijo-e@fukui-city.ed.jp

3.16 北陸新幹線 金沢-敦賀駅間開業

3月16日、北陸新幹線が金沢-敦賀駅間で開業します。長年待ちに待ってようやく福井に新幹線がやってきました。この日乗車する人や新幹線の姿を見ようとすると、いろんな思いでその日を迎える人が多くいらっしゃるでしょう。北陸新幹線は昭和48年に整備計画が決定され、平成9年に長野-東京駅間が開業し、平成27年に金沢-長野駅間が開業され、その後、金沢-敦賀駅間の工事が始まり、令和6年の開業に至りました。

さて、1つのことを成し遂げるのにはたいへん時間がかかり、その苦労は計り知れないくらい大きいと言われます。目標とすることが大きいほど達成までの時間がかかったり、苦労したりするということですね。北陸新幹線も今回、福井に開通するまでにたいへん長く時間がかかり、このことに関わった人たちの苦労は言葉では言えないくらいに大きかったことと思います。

1・2年生:まちの中を走る北陸新幹線



《北陸新幹線のあゆみ》

昭和42年	北回り新幹線を建設しようと同盟会結成
昭和48年	北陸新幹線の整備計画を決定
平成元年	認可・着工 *高崎-軽井沢駅間から
平成9年	長野-東京間開業(軽井沢駅・佐久平駅・上田駅・長野駅開業)
平成10年	長野-上越間認可・着工
平成26年	E7系新幹線導入(8両編成が12両編成となることで、定員630名から924名に)
平成27年	長野-金沢間開業(飯山駅開業)
平成28年	敦賀-大阪間のルート決定
平成31年	金沢-敦賀間の工事実施計画変更認可
令和3年	金沢-敦賀間の工事実施計画変更認可
令和6年	金沢-敦賀駅間開業

このあゆみを見てわかるように今年開業するまでに50年以上の年月がかかっていることに驚きます。3月16日がとても待ち遠しいですが開業を祝うだけでなく、このことから学ぶことも多くあると思います。学び取ったことを一乗小の学びにも役立てていきたいと思っています。



リニア中央新幹線

なお、現在は超電導リニアによる中央新幹線も一部工事着工が認可されています。東京-大阪間を新幹線だと134分かかるところを時速500km、67分で行ける超高速鉄道の建設を目指しているところで、北陸新幹線と同じ昭和48年に基本計画が決定されたことが驚きです。



北陸新幹線

令和5年度 学校評価から

令和5年度の最終月となりました。今年度、子どもたちは学校内外の様々な場で一生懸命に学習や活動に取り組み、苦勞し困難を乗り越えて少しずつ成長してきました。これまで保護者の皆様やご家族の皆様、そして、地域の皆様に支えていただき、大変感謝しております。ありがとうございました。

さて、今週に入り3回目となる学校評価にご協力いただきありがとうございました。この評価をもとに一乗小の教育を客観的に振り返り、改善してこれからの教育に役立てていきます。3回目の評価分析はこれからになりますので、第1回と第2回の評価について少しご紹介します。結果一覧と考察についてはホームページに掲載しておりますので、右側のQRコードを読み込んで是非ご覧ください。



《第1回・第2回の学校評価の推移から》

◆将来の夢や目標について *評価数値は「A:よくあてはまる」のみの回答を集計した結果です。

	設問	7月評価	(推移)	12月評価
児童	将来の夢やめざす目標をもっている。	78%	➡	96%
保護者	わが子は将来の夢や目標をもっている。	33%	➡	39%
教職員	本校は児童が夢や目標をもちその実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	100%	➡	86%

◆あいさつについて

	設問	7月評価	(推移)	12月評価
児童	進んであいさつや返事をしている。	100%	➡	83%
保護者	わが子は自分からあいさつをしたり気持ちのよい返事をしたりすることができる。	17%	➡	28%
教職員	本校は児童が進んであいさつや返事ができるように働きかけている。	71%	➡	57%

◆進んで勉強について

	設問	7月評価	(推移)	12月評価
児童	宿題の他に進んで勉強や自主学習をしている。	26%	➡	36%
保護者	わが子は家庭学習(進んで勉強・自主学習)に取り組んでいる。	17%	➡	28%
教職員	本校は児童が主体的に家庭学習に取り組めるような指導をしている。	43%	➡	71%

17、18問ある学校評価の設問から3つを提示しましたが、この結果から「よくあてはまる」と言い切れる回答の数値が低いことがわかります。また、7月から12月という学校の教育活動が活発化する期間にもかかわらず数値が下がっている回答もあります。このことから、目の前の活動に向き合っている中で抜け落ちてしまっていることがあるのではないかと考えられます。学校評価の実施において最も大切なことは、これらの結果をどのように今後の教育に活かしていくか考えることです。結果を丁寧に読み取り、子どもたちの学びのためにさらなる工夫をしていきたいと思います。

..... 切り取り

学校へのご意見やご感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

--	--



_____ 年 名前 _____ (無記名でも構いません)